

英会話の決まり文句

初対面のあいさつ

○フォーマルな場合

How do you do?

○一般的な初対面の場合

Nice to meet you. が最も一般的。

Great to see you./Glad to see you.

なども使います。

○2度目以降にあった場合

Nice to see you.

○電話などで知り合った場合

Nice to know you.

あいさつ

Hello.

Hi.

How are you?

(答え方) 元気度の度合

100% **Great!/Wonderful**

90 **Very well.**

70~80 **Fine**

50 **Not bad./O.K.**

40 **So-so.**

30 **Not so good.**

0 **Terrible./Awful.**



(メ) (モ)

●「はじめまして」という場合、Nice to meet you. が最も一般的な表現です。How do you do? は公式な場や相手の身分や年齢がよほど高い場合など、かなりフォーマルな状況で使われます。

●meetは初対面のときに使います。2度目以降はmeetの代わりにseeを使います。

●電話では、会ったわけではなく知り合ったので、knowを使います。

●How are you? は、ふつうはあいさつの表現であって、体の具合を心配して尋ねているわけではないので、I'm fine. と答えるのがよくあるパターンです。ただし、状況によっては本当に体の調子についてたずねることもあるので、その場合は、左のように答えるとよいでしょう。

How you doing?

(インフォーマルな言い方)

How's everything?

How have you been?

Anything new?

(何か変わったことがないかたずねるとき)

What's going on?

「何やっているの」

(人が集まっている所へ加わる時など)

May I help you?

(店員がお客にいう決まり文句)

What can I do for you?

(サービス業の決まり文句)

別れのあいさつ

○別れを言う前に

It's been a pleasure to talk to [meet/see] you.

(お話[お会い]できて楽しかったという場合)

I have to go.

I've got to go.

I have to be going.

I've got to be going.

「もう行かなければ」

○あいさつ

Goodbye.

See you.

See you later.

(メ) (モ)

●How are you doing? がHow're you doing? となり、さらに、'reが省略されてHow you doing?となったもの。友だちどうして使う表現です。

●What can I do for you? は、ホテルのフロントや空港のカウンターなどサービス業でよく使われますが、医者が患者に「どうしましたか」とたずねるときにも使われます。

●さようならの言葉goodbyeをいきなり言うのではなく、その前に「お話しできて楽しかったです」とか「もう行かなければなりません」と言うのがふつうです。

●I've got to go. は、I have got to go. の省略形です。have got toはhave toと同じ意味で、特にアメリカ英語でよく使われます。haveが省略されてgotだけで使われることもあります。

許可を求める表現

○インフォーマル

Can I ~?

○丁寧な言い方

May I ~?

Do you mind if ~?

Do you think I could ~?

I was wondering if I could ~.

「～してもよろしいでしょうか」

○はいの返事

Sure. 「いいですよ」/ **Of course.** 「もちろん」

(**Do you mind ~?** で聞かれたら、

Of course not. と **not** をつけて答えます)

○断る返事

I'm sorry, but ~.

「申し訳ないけど～なので」

援助を頼む表現

Can you do me a favor?

「お願いがあるんですが」

Do me a favor?

Can you help me?

○その返事

Sure. 「いいですよ」/ **Of course.** 「もちろん」

などと言ったあと **What is it?** とたずねます。



●許可を求めるとき、**Can I ~?** は友だちどうして使います。目上の人やあまり面識のない人に許可を求めるときには、丁寧な表現を心がけましょう。長くなれば長くなるほど丁寧さが増します。

●**Do you mind if ~?** に「いいですよ」と答える場合、**mind** が「気にする」というのがもともとの意味なので **Of course not.** 「もちろん気にしません」という意味で **not** をつけることに注意しましょう。もちろん、**Sure.** と答えてもかまいません。

●断る場合は、理由をつけて断ります。

●**Can you do me a favor?** や **Do me a favor?** は、具体的に何かの許可を求めたり、何かを頼んだりする前に、まず「お願いがあるんですが」と切り出す言い方です。そう言われたら、内容も聞かずに断るのではなく、とりあえず **Sure.** と、耳を傾けましょう。

依頼の表現

○インフォーマル

Please ~.

Can you ~?

○丁寧な言い方

Could you (possibly/please) ~?

「～していただけませんか」

Do [Would] you mind ~ing?

Do you think you could ~?

Would it be possible to ~?

「誠に申し訳ございませんが～していただけませんか」

○はいの返事

Sure. 「いいですよ」/ **Of course.** 「もちろん」

(**Do you mind ~?** で聞かれたら、

Of course not. と **not** をつけて答えます)

○断る返事

I'm sorry, I can't. I'm busy now.

「申し訳ないけど忙しいので……できません」

(理由をそえて断ります)

提案・勧誘の表現

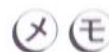
How about ~?

「～はどうですか」

Why don't you [we] ~?

(**we** の場合はいっしょにしようというニュアンスが出ます)

Would you like (to) ~?



●人にものを頼むときは丁寧なというのが原則です。たとえば、スタンドでものを買うときにも **please** をつけなければ無視されてしまうのがおちです。また、頼む内容や間柄によって丁寧さの度合を変える必要があります。左のいちばん下の表現は相当丁寧な言い方です。

●**Will you ~?** は「～してほしい」という強い言い方になるので、使い方に注意しましょう。よほど親しい間柄か軽い頼みごとのときに使います。また、～、**will you?** と、付加疑問文の形でよく使います。

●道順を知らない人にたずねるときは、**Could you tell me the way to ~?** というのが決まり文句です。

●**How about ~?** は提案の表現です。～には名詞がきても、動詞がきてもかまいませんが、動詞の場合は、**ing** 形にします。